

ESR ESR川崎夜光ディストリビューションセンター 完成



物流施設の金字塔に

ESR株式会社 代表取締役
スチュアート・ギブソン



この度、ESRとして竣工ベースで全国で23件目、神奈川県内では2件目の「ESR川崎夜光ディストリビューションセンター(DC)」につきまして、ダイワコーポレーション様に全棟契約を結んでいただいた上で竣工を迎えることができ、大変光栄に存じております。ダイワコーポレーション様にはESR川崎夜光DCの高品質で最新のスペックを備えた汎用性の高い施設設計は特にご評価いただいております。

現在ESRが京浜地区で開発を進めております横浜幸浦、川崎浮島、東扇島のプロジェクトにつきましても、物流施設の金字塔になるよう、引き続きチーム一丸となって取り組んでまいります。

最後にこのコロナ禍の厳しい状況下で、株式会社熊谷組様をはじめ多くの関係各社のご協力とご尽力のおかげで無事に竣工を迎えられたことにつきまして、この場をお借りし心より御礼申し上げます。

希少性高い陸海空輸送の最適地

物流不動産開発・運営大手のESRが川崎市川崎区で開発を進めていた「ESR川崎夜光ディストリビューションセンター」が完成した。羽田空港、川崎港、東京アクアラインに近い陸海空輸送インフラの利便性、最新スペックを備えた高い汎用性、雇用確保の優位性などを特長とするマルチテナント型物流施設で、ダイワコーポレーションが1棟賃貸借契約を締結している。設計・監理、施工はともに熊谷組が担当した。



エントランスホール

設計コンセプト

本施設は、羽田空港や川崎港至近にある良好なアクセスの立地に計画されたマルチテナント型物流施設です。物流や工場用地帯として栄えている地域で、交通量も多い立地です。事業主の掲げる「HUMAN CENTRIC DESIGN. (人を中心に考えたデザイン)」の理念を実現するために、物流施設としての機能性と安全性だけでなく、休憩室等のアメニティや非常用自家発電設備によるBCPにも配慮しています。

アメニティ、BCPにも配慮

施設計画としては、3階自走式スロープにより、1階および3階にトラックバースを設置し、各階に設置された荷物用エレベーターと垂直搬送機によって、メゾネットタイプの利用を可能としました。

港湾エリアのため、車両が出入りする前面道路からできる限り建物の距離を取り、トラックバースを道路側へ向けることで海風に對して配慮しています。

エントランスはトラックバースの逆側に設置し、物流施設としての要となるトラックバースを最大限確保する計画としています。詰め所やドライバールーム用アメニティ施設をトラックバース付近に設けることで、機能面も充実した施設となっています。

外観はホワイトの基調により圧迫感を図りながら、スカイラインにコーポレートカラーを採用することで、ブランドイメージを表現しています。

株式会社熊谷組 設計第1部設計第2グループ 柴田侑亮

工事概要

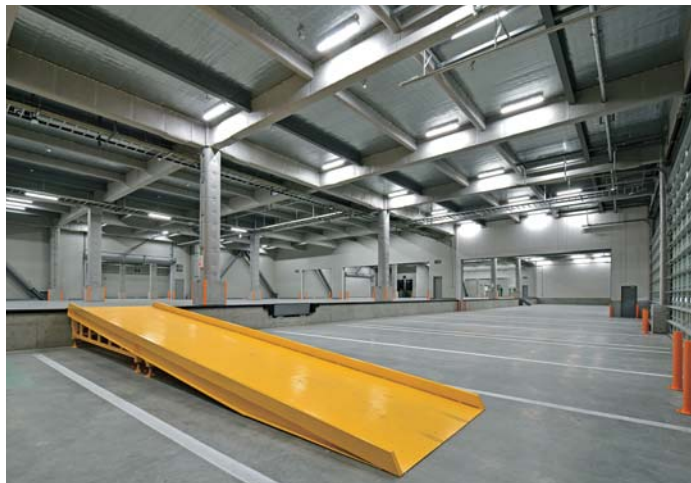
■工事名称: ESR川崎夜光ディストリビューションセンター新築工事
■工事場所: 神奈川県川崎市川崎区夜光2丁目4番1
■発注者: ESR夜光特定目的会社
■設計・監理: 株式会社熊谷組一級建築士事務所
■施工: 株式会社熊谷組首都圏支店
■敷地面積: 36,364㎡
■建築面積: 21,048㎡
■延べ床面積: 78,119㎡
■構造: S造
■階数: 地上4階
■工期: 2020年2月1日～2021年4月30日



休憩スペース



倉庫



トラックバース



通路

設計・施工／熊谷組

阿吽の呼吸で円滑な工事を実現

物流の一等地ともいえる川崎で物流施設を建築する工事です。ESR発注工事にかかわるのは4物件目となります。本建物は東西に約240m、南北に約80mの長方形4階建て、バースは1階とスロープで乗り入れる3階に計画されるメゾネット型のプランとなっています。

工事計画は、竣工までの全工事計画をイメージするおのずと方向性が見えてきます。今回のプランはラン形式ではないため、各階の揚重を従来通りの仮設ステージで計画し、スロープ工事を先行するメリットは無いので後施工として240mの各工事を西から東に流しました。工事で発生する残土は全て場内利用するため、地盤レベルの検討・外構路盤構成の検討・杭工事完了後の路床生成を計画しました。その他、工事車両の搬出入動線の確保、効率の良い重機選定、労務の平準化、現場労務の削減などいろいろなテーマが出てきました。

まず、杭工事は既成杭251本を養生を5日間行いました。屋根工事

杭打機3基で計画。杭工事施工中は建物周囲の舗装計画エリアを舗装路確保まで施工し、敷鉄板で車両動線を確保することで、今後の各種資材の搬出入に備えました。「各工種を早期着手し労務平準化を図るには」とのテーマで、鉄骨建方は建て逃げ方式を採用し、西側より順に鉄骨工事・屋根工事・外壁工事・スラブコンクリート工事を進めました。

二つの工区に分け、それぞれの工区に鉄骨・PCの重量・作業半径より適正なクローラークレーンを配置し、200tクローラー2基、それぞれに相番機と、計4基の揚重機を計画。本建物の地中梁はS造のため、杭工事の次工程は鉄骨建方になります。着工から鉄骨建方までの期間が込んで、一丸となったチームを感じられました。

竣工に当たり、ESR様、協力業者の方々の協力に感謝いたします。また同じメンバーで仕事ができることを楽しみにしています。

株式会社熊谷組 所長 今淵寿之

高める、つくる、そして、支える。

設計・施工



熊谷組

東京都新宿区津久戸町 2-1 電話 03(3260)2111

電気設備工事

Kinden きんでん 横浜支社

横浜市西区みなとみらい 2-3-5 電話 045(640)6316

空調・給排水衛生設備工事

Panasonic パナソニック関東設備株式会社

群馬県前橋市古市町 1-50-14 電話 027(251)0571

■鉄骨製作工事
株式会社 青木鐵工所
長野県須賀市大字小島 1476-166 電話 026(246)8855

■金属断熱サンドイッチパネル工事
アスク・サンシンエンジニアリング株式会社
横浜市鶴見区鶴見中央 2-5-5 電話 045(503)7818

■鋼構造物第三者非破壊検査
株式会社 アディック
東京都世田谷区代沢 4-28-3 電話 03(3419)0990

■耐火被覆・断熱工事
エーアンドエー工事株式会社 東日本支店
横浜市鶴見区鶴見中央 2-5-5 電話 045(510)3935

■垂直搬送機設備工事
オムニヨシダ株式会社
東京都港区芝浦 2-14-8 電話 03(3453)1771

■鉄骨製作工事
株式会社 カガヤ
岩手県盛岡市芋田字武道 9-95 電話 019(683)2620

■ガラス工事
株式会社 川島ガラス
東京都新宿区横濱町 2-17 電話 03(3269)8351

■木工工事
株式会社 木のくに屋
東京都江東区新木場 1-6-13 電話 03(3521)6625

■OAフロア工事
共同カイツェック株式会社
東京都渋谷区恵比寿南 1-15-1 電話 03(6825)7040

■塗装工事
株式会社 景月
栃木県佐野市小中町 18-5 電話 0283(22)0104

■金属工事
株式会社 幸栄工業
東京都足立区大木 3-34-14 電話 03(3606)8452

■オーバースライダ・建具工事
金剛産業株式会社
東京都中央区晴海 1-8-12 電話 03(3534)1824

■鋼製建具工事
三誠産業株式会社
東京都中央区銀座 3-12-16 電話 03(3541)2317

■デッキ工事
スチールエンジ株式会社
東京都中央区八丁堀 2-21-6 電話 03(6222)3138

■植栽工事
住友林業緑化株式会社
東京都中央区日本橋 1-38-1 電話 03(6832)2202

■防水工事
株式会社 清谷商店
横浜市戸塚区汲沢町 732-1 電話 045(861)8886

■シーリング工事
有限会社 太洋工業
千葉県柏市南増尾 2-17-10 電話 04(7172)1762

■鉄筋工事
高千穂鉄筋株式会社
千葉県白井市神々廻 1828 電話 047(491)5272

■シャッター・建具工事
東洋シャッター株式会社
東京都中央区日本橋馬喰町 1-14-5 電話 03(3639)0591

■鉄骨階段製作工事
株式会社 成田鉄工所
福井県越前市家町 56-11-1 電話 0778(24)1661

■鉄骨製作工事
有限会社 日新鉄工所
福井県越前市松森町 10-5-1 電話 0778(23)5810

■左官工事
沼田工業株式会社
川崎市幸区南加瀬 3-4-9 電話 044(599)1561

■サイン工事
株式会社 白英社
茨城県水戸市大町 2-3-2 電話 029(224)4352

■アルミ製建具工事
不二サッシ株式会社 横浜支店
横浜市西区みなとみらい 2-2-1-1 電話 045(210)9081

■鉄骨工事
三笠エンジニアリング株式会社
埼玉県秩父郡皆野町大字皆野 104-11 電話 0494(28)6144

■杭工事
三谷セキサン株式会社
東京都台東区柳橋 2-19-6 電話 03(5821)1122

■ALC工事
株式会社 明建エンジニアリング
茨城県水戸市開江町 452-1 電話 029(253)6391

■荷物用エレベーター工事
守谷輸送機工業株式会社
横浜市金沢区福浦 1-14-9 電話 045(785)3111

■鉄骨工事
株式会社 ユウケイ工業
栃木県宇都宮市白沢町 1825-32 電話 028(673)9228

【順不同】